

# 関西心理学会

## 2020年度 総会

ウェブサイト掲載：2020年11月11日

意見聴取期間：2020年11月21日～30日

### 議 事

#### 報告事項

(1) 学会現状報告（会員数動向，新入会員）

【資料1】

別紙資料の通りです。下記のように本年度大会が繰り延べになったことで、発表のために入会する方が少なく、全体として33名減となりました。

(2) 2020年度役員

【資料2】

別紙資料末にあるように、事務局員2名が追加となりました。それ以外は昨年度と変更ありません。7月に発行したニューズレターにも掲載してあります。

(3) 本年度大会（第132回大会）の次年度への繰り延べ

電子メールおよびハガキにてお知らせしているように、本年度大会は次年度に繰り延べとなりました。開催校は同志社大学のままです。開催日および開催形態については未定です。

(4) 2019年度研究奨励賞

【資料3】

昨年度大会の発表者のうち5名の方に研究奨励賞を授与することになりました。受賞者は学会ウェブページや7月に発行したニューズレターで発表済みです。11月1日開催の委員会にて授与方法を審議し、賞状と副賞（図書券）は郵送し、授与式は次年度大会にて行うこととなりました。

(5) 日本学術会議の要望書に関する本学会の対応について

【資料4】

常任委員間でのメール協議ならびに11月1日開催の委員会の審議を経て、日本学術会議の推薦会員の任命問題に関する意見を関西心理学会会長名で発出し、学会ウェブページに掲載しました。

(6) 次期役員

11月1日開催の委員会にて、次期（2021～2022年度）の会長として中島定彦現会長が選出されました。次期役員は、会則に基づき次期会長が正会員の中から委嘱することになっております。中島会長から、定年による交代などを除き、原則として今期役員に次期も委嘱予定である旨の発言がありました。

#### 議案

(1) 2019年度収支報告（含．会計監査報告）

【資料5-1, 5-2】

別紙資料の通りです。監事の岡村孝光先生、山本晃輔先生に監査いただきました。11月1日開催の委員会にて承認いただいています。総会でもお認めいただきますようお願いいたします。

(2) 2020年度予算

【資料 6-1, 6-2】

7月に発行したニューズレターに掲載した本年度予算案(資料 6-1)を修正したもの(資料 6-2)を11月1日開催の委員会にて承認いただいています。総会でもお認めいただきますようお願いいたします。なお、大きな修正点は以下の通りです。大会の次年度への繰り延べに伴い、大会補助金や学生会員の大会参加費補助金、研究奨励賞受賞者の懇親会費はなくなりましたが、諸通知に必要な通信費や事務費は修正前よりも額を増やしています。常任委員会や委員会はオンラインで開催していますので、会議費は発生していません。談話会はオンラインで3件の開催を目指していますので、予算を増額しています。

(3) 前回大会(第131回大会)収支報告

【資料 7】

別紙資料の通り、開催校である大阪教育大学から報告がありました。11月1日開催の委員会にて承認いただいています。総会でもお認めいただきますようお願いいたします。

(4) 2020年度大会の中止(繰り延べ)に伴う会費の取り扱いについて

本年度大会の次年度への繰り延べに伴い、本年度会費支払者は次年度会費を無料とすることが、10月4日開催の常任委員会および11月1日開催の委員会で承認されました。総会でもお認めいただきますようお願いいたします。なお、この処置による次年度予算への影響を計算し、問題ないことが上記の役員会で確認されております。

(5) 会則の変更

【資料 8】

本年度大会の次年度への繰り延べおよび次年度会費の無料処置を可能とするため、関連する会則を別紙資料のように変更することが、10月4日開催の常任委員会および11月1日開催の委員会で承認されました。総会でもお認めいただきますようお願いいたします。

(6) 名誉会員の推戴

【資料 9】

11月1日開催の委員会で、岡市廣成顧問を名誉会員の候補者として総会に推薦することとなりました。ご経歴は別紙資料をご覧ください。お認めいただきますようお願いいたします。

## 学会現状報告（2020年11月1日現在）

## 会員数動向

前回委員会時 489名（正会員483名 名誉会員6名）

前回委員会後 退会者13名 除籍24名 新入会員4名

合計 456名（正会員450名 名誉会員6名）

## 新入会員（2019年第1回委員会以降）

	会員番号 (仮)	氏名	所属	推薦者	専門 1	専門 2	専門 3
1	2119	金山 英莉花	同志社大学大学院心理学研究科 博士前期課程	内山 伊知郎 (同志社大学)	2	1	
2	2120	柴原 里奈	奈良女子大学大学院 人間文化総合研究科博士前期課程	山根 隆宏 (神戸大学)	1	3	2
3	2121	西岡 優彦	同志社大学大学院心理学研究科 博士前期課程	畑 敏道 (同志社大学)	1		
4	2122	陳 香純	京都大学大学院文学研究科	中島 定彦 (関西学院大学)	1		

1：知覚・生理思考・学習・記憶・認知・情動・行動， 2：発達・教育，

3：臨床・人格・犯罪・矯正， 4：社会・産業・文化， 5：方法・原理・歴史・一般

関西心理学会 2020 年度役員（敬称略）下線新任

## 【会長】

中島定彦（関西学院大学）

## 【委員】 #印：常任委員

[京都] 14名

#蘆田 宏（京都大学） #星野祐司（立命館大学） 青山謙二郎（同志社大学）  
上北朋子（京都橘大学） 内山伊知郎（同志社大学） 片岡基明（京都女子大学）  
楠見 孝（京都大学） 齋木 潤（京都大学） 坂本敏郎（京都橘大学）  
杉若弘子（同志社大学） 土田宣明（立命館大学） 藤岡秀樹（京都教育大学）  
松浦ひろみ（京都女子大学） 余語真夫（同志社大学）

[大阪] 15名

#岡本真彦（大阪府立大学） #篠原一光（大阪大学） 池上知子（大阪市立大学）  
石王敦子（追手門学院大学） 本岡寛子（近畿大学） 臼井伸之介（大阪大学）  
金澤忠博（大阪大学） 木村貴彦（関西福祉科学大学） 串崎真志（関西大学）  
白井利明（大阪教育大学） 関口理久子（関西大学） 高橋 登（大阪教育大学）  
寺嶋繁典（関西大学） 平野哲司（大阪人間科学大学） 山本利和（大阪教育大学）

[兵庫] 10名

#長谷川千洋（神戸学院大学） #福井義一（甲南大学） 秋光恵子（兵庫教育大学）  
金敷大之（甲子園大学） 片山順一（関西学院大学） 柴原直樹（神戸医療福祉大学）  
成田健一（関西学院大学） 毛 新華（神戸学院大学） 吉野俊彦（神戸親和女子大学）  
山根隆宏（神戸大学）

[奈良] 4名

#清水益治（帝塚山大学） 天ヶ瀬正博（奈良女子大学） 中山満子（奈良女子大学）  
中山留美子（奈良教育大学）

[和歌山] 2名

#則定百合子（和歌山大学） 米澤好史（和歌山大学）

[滋賀] 2名

#渡部雅之（滋賀大学） 菅 眞佐子（滋賀大学）

【監事】

岡村季光（奈良学園大学） 山本晃輔（大阪産業大学）

【幹事】

永石高敏（帝塚山大学）

【顧問会】

岡市広成（同志社大学） 苧阪直行（京都大学） 石田雅人（大阪教育大学）  
藤田和生（京都大学） 豊田弘司（追手門学院大学） 清水寛之（神戸学院大学）

【名誉会員】

宮田 洋（関西学院大学） 関口茂久（滋賀大学） 今田 寛（関西学院大学）  
長山泰久（大阪大学） 松田隆夫（立命館大学） 太城敬良（大阪市立大学）

【事務局】

中島定彦（関西学院大学） 永石高敏（帝塚山大学） 斎藤元幸（同志社大学）

堀麻佑子（奈良教育大学） 赤尾依子（関西学院大学） 陳 香純（関西学院大学）

## 2019 年度研究奨励賞（敬称略）

1. 白井 理沙子（関西学院大学大学院文学研究科・日本学術振興会）  
「皮膚関連傷病のプライミングが集合体画像の評価に及ぼす影響」  
（小川洋和氏との共同研究）
2. 小林 穂波（関西学院大学大学院文学研究科）  
「読み方向のプライミングが単語の並列処理を促進する」  
（小川洋和氏との共同研究）
3. 小林 勇輝（大阪大学大学院人間科学研究科・日本学術振興会）  
「明度知覚と形状知覚での異なる照明表象処理過程」  
（森川和則氏との共同研究）
4. 中村 敏（大阪市立大学文学研究科）  
「一般化対応法則を用いたルール支配行動の分析」  
（佐伯大輔氏との共同研究）
5. 向野下 紋香（奈良女子大学大学院人間文化研究科）  
「日本語二項構文の処理特性について一格助詞と語の共起の影響一」

日本学術会議の推薦会員の任命問題について

2020 年 10 月 2 日に日本学術会議より菅義偉内閣総理大臣宛に「第 25 期新規会員任命に関する要望書」が提出されました。日本学術会議のこの要望を支持いたします。

2020 年 11 月 1 日

関西心理学会 会長 中島定彦

## 2019年度関西心理学会 収支報告

## 【一般会計】

収入		支出	
2018年度からの繰越金	1,399,505	大会補助金(大阪教育大学)	550,000
年会費収入	938,500	研究奨励賞費(5名) <sup>※1</sup>	39,000
補助金返納(甲南大学)	34,481	学生会員補助金(59名分)	88,500
		談話会補助金	0
		印刷費	76,248
		通信費	75,356
		会議費	54,451
		事務費 <sup>※2</sup>	117,599
		名簿積立金	100,000
		雑費(会費過払い分返金) <sup>※3</sup>	12,500
		支出小計	1,113,654
		次年度繰越	1,258,832
収入合計	2,372,486	支出合計	2,372,486

## 【名簿会計】

収入		支出	
前年度繰越金	100,000	繰越金	200,000
名簿積立金	100,000		
収入合計	200,000	支出合計	200,000

※1 図書カード5,000円×5名, 懇親会費3,000円×4名+2,000円×1名

※2 資料電子化63,400円

※3 二重払い12,500円×1名

## 会計監査報告

関西心理学会 2019 年度決算に関し、帳簿、証憑書類その他を監査しましたところ、全て正確であることを認めました。

関西心理学会 監事

2020年7月8日 岡村季光 

関西心理学会 監事

2020年7月9日 山本晃輔 

## 2020年度関西心理学会 当初予算(案)

## 【一般会計】

収入		支出	
2019年度からの繰越金	1,258,832	大会補助金(同志社大学)	550,000
年会費収入(会員数×80%)	978,000	研究奨励賞費(含.懇親会費) <sup>※1</sup>	40,000
大会補助金返納(大阪教育大学)	178,030	学生会員補助金	90,000
		談話会補助金	10,000
		印刷費	80,000
		通信費	80,000
		会議費	60,000
		事務費(含.資料電子化) <sup>※2</sup>	70,000
		名簿積立金	100,000
		支出小計	1,080,000
		予備費(次年度繰越見込)	1,334,862
収入合計	2,414,862	支出合計	2,414,862

## 【名簿会計】

収入		支出	
前年度繰越金	200,000	繰越金	300,000
今年度積立金	100,000		
収入合計	300,000	支出合計	300,000

※1 研究奨励賞5名分

※2 資料電子化30,000円

## 2020年度関西心理学会 修正後予算(案)

【一般会計】					
収入		支出		補正	
2019年度からの繰越金	1,258,832	大会補助金(同志社大学)	0	-550,000	
年会費収入(会員数×80%)	978,000	研究奨励賞費 <sup>※1</sup>	25,000	-15,000	
大会補助金返納(大阪教育大学)	178,030	学生会員補助金	0	-90,000	
		談話会補助金	60,000	50,000	
		印刷費	80,000	0	
		通信費	150,000	70,000	
		会議費	0	-60,000	
		事務費(含.資料電子化) <sup>※2</sup>	100,000	30,000	
		名簿積立金	100,000	0	
		支出小計	515,000	-565,000	
		予備費(次年度繰越見込)	1,899,862		
収入合計	2,414,862	支出合計	2,414,862		
【名簿会計】					
収入		支出		補正	
前年度繰越金	200,000	繰越金	300,000	0	
今年度積立金	100,000				
収入合計	300,000	支出合計	300,000		

※1 研究奨励賞5名分

※2 資料電子化30,000円

## 関西心理学会第131回大会収支報告(2020年3月12日)

収入						
		単価	人数等	小計1	小計2	計
<b>参加費</b>						
予約参加	一般	3,000	41	123,000	154,500	346,000
	学生	1,500	21	31,500		
当日参加	一般	3,500	33	115,500	191,500	
	学生	2,000	38	76,000		
<b>懇親会</b>						
予約参加	一般	3,000	28	84,000	98,000	150,000
	学生	2,000	7	14,000		
当日参加	一般	3,500	12	42,000	52,000	
	学生	2,500	4	10,000		
<b>論文集</b>						
協賛広告	1ページ	10,000	2	20,000	30,000	34,000
	1/2ページ	5,000	2	10,000		
論文集販売		1,000	4	4,000	4,000	
<b>学会補助</b>						
大会開催補助		550,000	1	550,000	550,000	652,500
学生参加費補助		1,500	59	88,500	88,500	
懇親会招待者	一般	3,000	4	12,000	14,000	
	学生	2,000	1	2,000		
<b>その他</b>						
論文集送料		370	1	370	370	370
<b>計</b>						1,182,870
支出						
		単価	人数等	小計1	小計2	計
<b>1号通信</b>						
印刷・発送費		59,530		59,530	59,530	59,530
<b>発表論文集</b>						
印刷・発送費		235,730		235,730	235,730	235,730
<b>大会開催費</b>						
施設使用料		79,700		79,700	79,700	313,584
講師謝金・交通費		49,940		49,940	49,940	
学生スタッフ謝金	1日(早朝)	11,000	4	44,000	159,000	
	1日	10,000	9	90,000		
	半日	5,000	5	25,000		
休憩室茶菓等		9,988		9,988	9,988	13,246
名札ケース		4,616		4,616	4,616	
名札用紙・印刷		10,340		10,340	10,340	
<b>弁当</b>						
	スタッフ	910	22	20,020	22,750	22,750
	シンポジウム	910	3	2,730		
<b>懇親会</b>						
懇親会経費		360,000		360,000	360,000	360,000
<b>雑費</b>						
文房具		1,844		1,844	1,844	13,246
振込手数料		592		592	592	
物品運搬経費・送料		7,590		7,590	7,590	
交通費		3,220		3,220	3,220	
<b>残額返納</b>						178,030
<b>計</b>						1,182,870

## 関連する会則の条文

## 関西心理学会会則

第3条 本会は心理学の発展および応用普及を図ることを目的とする。

第4条 本会は前条の目的を達するために大会の開催その他必要な事業を行なう。

第6条 正会員の会費は1年2500円とする。ただし、常任委員会および委員会の議を経て総会で承認された場合は、会費の全額または一部を求めない。（下線部追加修正）

第7条 本会の会計年度は4月1日に始まり翌年の3月31日に終了する。

第8条 会員は大会に出席し、研究発表をすることができる。

第13条 会員総会は委員会提出の議題その他会務遂行上必要な諸事項を議決する

第14条 大会は以下の要領によって開催する。

1. 大会は年1回開催する。ただし、災害等により中止・延期したり、会場に参集しない形での開催とすることがある。（下線部追加修正）
2. 大会は研究発表を主とし、あわせて討議、懇親などの行事を行なうこととする。
3. 大会における責任発表者（第一発表者）は原則として正会員に限る。
4. 責任発表者として優秀な研究発表を行った若手の正会員に対して研究奨励賞を与える。研究奨励賞の審査及び副賞については別に定める。
5. 学士課程在学中の非会員は、大学教員（あるいは研究員）である正会員が連名発表者となる場合に限り、常任委員会の承認を得て、責任発表者となることができる。
6. 大会の参加費はその都度これを定める。

第15条 本会会則の変更は委員会の議を経て会員総会においてこれを定める。

## 名誉会員推薦書

関西心理学会会則第5条第4項にもとづく名誉会員の候補者として、岡市廣成先生（同志社大学名誉教授）を推薦いたします。

**候補者氏名（よみ）** 岡市 廣成 （おかいち ひろしげ）

**生年** 1943年

**経歴** 1966年、同志社大学文学部文化学科心理学専攻卒業。1969年、同志社大学大学院文学研究科心理学専攻修士課程修了（文学修士）。同年、同志社大学文学部助手に就任。1972年、同志社大学文学部専任講師。1974年より McMaster 大学（カナダ）にて在外研究員（1975年に同大学大学院修士課程入学、1976年に修士号取得）。1977年、同志社大学文学部助教授。1981年、Washington & Lee 大学（米国）にて在外研究員。1983年、同志社大学文学部教授。1987年、論文"*Performance and dominant strategies on place and cue tasks following hippocampal lesions in rats*"で京都府立医科大学より医学博士。1994年、論文「海馬の心理学的機能の研究: 空間認知と場所学習」で同志社大学より、博士（心理学）。2008年、同志社大学を定年退職。

**専門領域** 記憶と学習の生理心理学・行動薬理学・加齢心理学

**主要著書** 『行動の心理学』[共編著]（シーダーカンパニー、1991年）、『基礎心理学』[共編著]（ソフィア、1994年）、『行動の生理心理学』[共編著]（ソフィア、1995年）、『海馬の心理学的機能の研究—空間認知と場所学習』（ソフィア、1996年）、『覚える—覚えたことがなぜ思い出せなくなるのだろう』（二瓶社、2007年）、『心理学概論』[共編著]（ナカニシヤ出版、2006年）、『心理学総合事典』[共編著]（朝倉書店、2006年）、『比較海馬学』[共編著]（ナカニシヤ出版、2008年）

### 主要論文

- Okaichi, H., & Jarrard, L. E. (1982). Scopolamine impairs performance of a place and cue task in rats. *Behavioral and Neural Biology*, 35, 319–325.
- Okaichi, H., Oshima, Y., & Jarrard, L. E. (1989). Scopolamine impairs both working and reference memory in rats: A replication and extension. *Pharmacology Biochemistry and Behavior*, 34, 599–602.
- Okaichi, H., & Oshima, Y. (1990). Choice behavior of hippocampectomized rats in the radial arm maze. *Psychobiology*, 18, 416–421
- Okaichi, H. (1996). Effects of fimbria-fornix lesions on door discrimination and route choice in a lattice maze by rats. *Neurobiology of Learning and Memory*, 66, 155–166.
- Okaichi, H. (2001). Effects of dorsal-striatum lesions and fimbria-fornix lesions on the problem-solving strategies of rats in a shallow water maze. *Cognitive, Affective, & Behavioral Neuroscience*, 1, 229–238.
- Okaichi, H., Hojo, M., & Okaichi, Y. (2006). Effects of post-training lesions in the hippocampus and the parietal cortex on idiothetic information processing in the rat. *Reviews in the Neurosciences*, 17, 135–146.

### 推薦理由

岡市廣成先生は関西心理学会に1968年に入会後、継続して本学会の会員であり、長きにわたり委員や常任委員として本学会の運営と発展に寄与された。2001～2004年度には会長（第16代）として学会を牽引された。2005年度からは顧問として本学会をお導きいただいている。本学会への貢献甚大である。

**推薦者** 関西心理学会会長 中島定彦（関西学院大学文学部教授）

2020年10月4日

### 【参考】

#### 関西心理学会会則

第5条 本会は下の会員を以て組織する。

（中略）

4. 名誉会員本会に特別の功労のあったもので、委員会が推薦し、総会の承認を得たもの。